

ベトナム・タイムズ

代表: 朝妻小津枝 080 - 5070 - 4707 / ベトナム 091-515-3640 (Ms. Thuy)

E-mail vietnamtimes@hotmail.co.jp <http://vietnamtimes.jp>

〒112 - 0014 東京都文京区関口 1 - 4 - 10 (株)ISC 気付)

— 1 月 1 5 日 (水) —

[政治・政策]

K(1) 今後は土地及び鉱物分野に集中して査察を実施(政府査察部ルオン副部長)

K(2) ガソリン業界には商品及びサービスの市場価格メカニスムにおける競争性・透明性向上が必要(ハイ副首相)

KS(3) 『住宅ローン支援策、

実行額 7587 億ドンにとどまる』

国家銀行(中央銀行)はこのほど、不動産市場活性化を目的に導入した 30 兆ドンの住宅ローン支援策について、昨年未までに 1789 件に対する総額 1 兆 8810 億ドンの融資が契約されたと発表した。このうち、実行額は 1765 件に対する 7587 億ドン。つまり、この支援策は導入から 7 カ月経過したが、実行額は 2.53%にとどまっている。そのため、国家銀行は先ごろ、この 30 兆ドン支援策の対象のうち、初めて家を購入する者に対するローン金利をこれまでの年 6%から 5%に引き下げることを決定。しかし、この金利引き下げも支援パッケージの実行額アップにはつながらないだろうとみられているようだ。

[経済]

TT(4) ペトロリメックス: 昨年の税引前利益 1 兆 9290 億ドン(前年比 97%増) & 売上額 196 兆 3300 億ドン(同 2.25%減) / ガソリン販売量は 800 万ト、自己資本利益率 10%に

T0(5) 『米ロックフェラー、ブンローで開発計画』

米国の大富豪ロックフェラー家が創業した投資管理会社ローズロック・グループが、ベトナム中部沿岸地域で 25 億ドル規模の住宅・ホテル開発プロジェクトに出資する見通しという。このプロジェクトは、ブンロー湾の 20 万㎡をローズロック社とブンロー石油ガス会社(本社フーエン省トウイホア)とで共同開発するというもの。ホテル(750 室超)や集合住宅(4300 戸)、ピラ、ショップなどを建設する計画のようだ。ズン建設相が昨年 12 月 24 日に発表したところによれば、ベトナムの不動産価格は 2013 年の 1 年間で 10~30%下落。そのため、販売量が増加するとともに市場への供給は減少したという。また、統計総局のデータによれば、2013 年の GDP 伸び率は 12 年(5.25%)を上回る 5.42%を確保しており、こうした状況がこの大型開発計画を後押ししているようだ。

L(6) 米国系保険会社 AIA が企業年金保険商品「ゴールデンエイジ・ペンションプラス」を発売: 企業と従業員(加入者)が保険料を積み立てる商品一個々の実状や希望に沿った財政計画が可能 / 2000 万ドン、5000 万ドン、1 億ドン、2 億ドンの 4 タイプ(保険料には個人所得税の免除も)

P(7) 中国へのエビ輸出が大幅増: 去年は韓国を抜いてベトナムにとって 4 番目のエビ輸出市場に / 昨年の対中水産物輸出額は約 5 億 6000 万ドル(前年比 38%増)でこのうちエビが約 3 億 5000 万ドル(同 53%増)を占める / 中国で養殖エビに感染症 EMS が発生したことによる減産が影響

D(8) 韓国シンド: ビンフック省カイクアン工業団地に複合機生産工場建設へ(資本金 3000 万ドル) / 2015 年 1 月の稼働を目指す(約 500 人の雇用を予定)

[社会]

L(9) ソンチャン第 2 水力発電所地域でまた地震(クアンナム省バックチャーミー県): マグニチュード 2.6、地底からの爆発音とともに軽い揺れ(人が感じる程度)で被害なし / 昨年 11 月 25 日以来の地震

L(10) テトに合わせてバス 100 台を追加投入(フオンチャンバス会社): ホーチミン市とベトナム中部及び西部を結ぶ約 30 路線に配備へ / ピーク時には 1 日約 800 台を導入(運賃も当局が定める規定の上限以下に設定)

L(11) 違法操業の金鉱で落盤事故(クアンナム省): 3 人が生き埋めとなって死亡 / 現場はジャングルの奥地にあり救出活動までに時間も

[その他]

D(12) ナムボン水力発電所完成(ケアン省クイチャウ県): 総投資額約 8000 億ドン(出力は 30MW 毎年平均 1 億 3000kW 時供給見込み)

D(13) 愛媛県の企業との協力をテーマとするシンポジウム開催(於ホーチミン): 自動車製造、精密機器、半導体、縫製などの分野で

T0(14) ベトナム中部で初めてとなる公立の IC センター (CENTIC) がオープン(ダナン市ソフトウェア・パーク内に): ダナン市情報通信局の傘下機関 / 事業内容は電子回路の設計、人材育成、研究活動

D: ダウトウ KS: キンテサイゴン SG: サイゴンザイフォン K: トバオキンテ P: ベトナムプラス TT: トウイチェ VN: VN エコミー VE: VN エクスプレス T0: その他

本誌はベトナム主要紙をそのまま翻訳したものです。記事内容については本紙の責任外になります。

在ベトナム日本国大使館ホームページ <http://www.vn.emb-japan.go.jp>

社団法人ベトナム協会 <http://www.javn.jp>